

2024 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [赤穂市立原小学校] 担当教諭名 [尼子 泰裕] (6年1組 7名)

相手国・地域 [ポーランド]

海外学校名 [Zespół Szkolno-Przedszkolny nr 5] 担当教諭名 [Barbara Skoczylas]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
		総合的な学習の時間	心をつなごう アートマイル

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Clean Energy & Smile
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	環境に優しいクリーンなエネルギーを普及させ、みんなが笑顔になれる社会を目指そう。



■今回の取組の成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ポーランドの児童と交流するにあたって、まず、相手国についての調べ学習を行った。同時に日本と赤穂についての紹介を発信することができた。これらの活動の流れにより、国際交流するとき大切なこと(相手を知ること、自分のことを発信すること)を、児童は体験的に理解することができた。 ・SDGsについての調べ学習では、お互いの学習の成果を共有することができた。 ・同じテーマを、違う環境で育った同年代の子ども達と考えていく、という活動そのものが刺激的だった。ポーランドから届いた壁画を見ても、同じような題材で描いても絵のタッチが全然違うという発見があった。同じ対象でも、見る窓が違えば、見える景色が違ってくることに気付くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポーランドとの日々のコミュニケーションが少なくなってしまうていた。無理なく計画的に進められる相互交流活動について、もう少し考えるべきであったように思う。持続可能な活動計画の重要性を感じた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>・ポーランドという国名は聞いたことがあっても、具体的なこと(場所、面積、人口、歴史、文化など)はほとんど何も知らない状態でのスタートだった。今回の交流の影響で、普段目にする新聞やテレビで「ポーランド」や「ヨーロッパ」という単語に目や耳が向くようになった。</p>	<p>・壁画を描くまでのプロセスが、学びの深さに直結するというを感じた。調べ学習や交流を経たからこそ描けた絵だった。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ポーランドについての調べ学習。 ・発信したい地域の魅力をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの内容について今までより深く知ることができた。 ・ポーランドについて初めて調べることができた。 	総合8
共有 相手と意見交換	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG7についての調べ学習。 ・調べ学習の成果を交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポーランドの人達と同じ考えのところは嬉しく感じた。異なる意見にも納得できた。 	総合8
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画にこめたい思いを交流し合う。 ・壁画の下書き案を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことが伝わるものを絵に入りたい。 ・クリーンエネルギーや持続可能な社会に向けたメッセージを込めたい。 	総合8
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画を制作し、発送する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本側の壁画が完成して嬉しい。 ・ポーランドの子ども達に無事に届いてほしい。 	総合8
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画を受け取る。 ・学習の振り返り。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて考え方が広がった。 ・国際交流の大切さを感じる事ができた。 	総合2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ポーランドについてさらに自主的に調べようとする児童がいた。
主体的に考え行動する力	4	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの他の番号も考えて調べていこうという提案が出るなど、自分たちで考えて学習を進めていきたいという意欲を感じる場面が多くあった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がどう考えるか、相手がどう考えたのかを並べて見ることはできていたが、一つの事実に対して複数の視点をもって考えるところまではできていなかった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての国際交流が刺激的な良い経験となっていた。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいメッセージを表現できたと達成感を感じていた。 ・共同制作の意義を理解し、相手意識をもって制作できた。